

コンクリート構造物から採取したコア供試体による塩分量分析

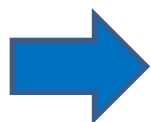
コンクリート構造物の調査において、コンクリート中の塩害劣化状況を把握するために塩分量分析を行います。

一般的にコンクリート構造物から採取したコア供試体による含有塩分量分析は、「①採取したコア 1 本を分析」、「②採取したコアを切断して分析」、以上の二つの方法があります。

調査の目的に合わせて、ご依頼下さい。

【塩分量測定の例】

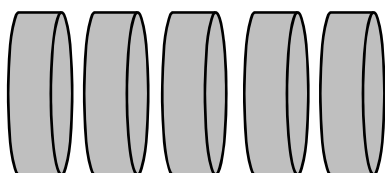
① 採取したコア 1 本を分析



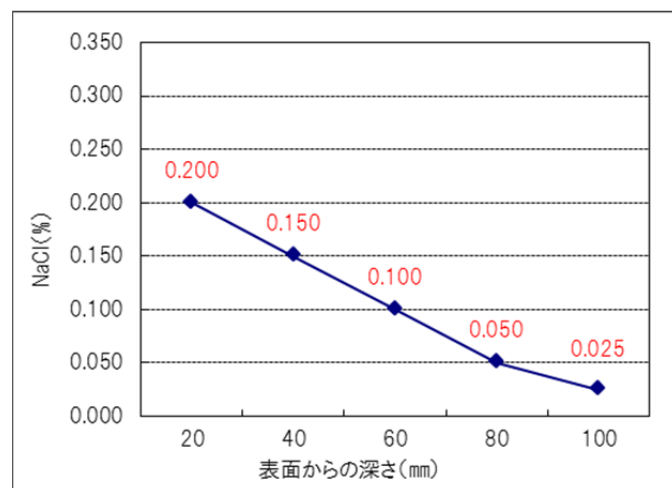
コア 1 本中に含まれる塩分量

塩分量(NaCl%)=0.107%

② 採取したコアを切断して分析



- 塩分が表面から浸透してく推移が明確になり、鉄筋位置での塩分量が確認出来る



注意事項

採取コアを切断して分析する場合は、**塩分量分析数量および切断数量が増える**に伴い試験費用も増えることになります。

調査の目的に合わせてご依頼下さい。